

タイヤ業界におけるリサイクルへの取り組み

2024年

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

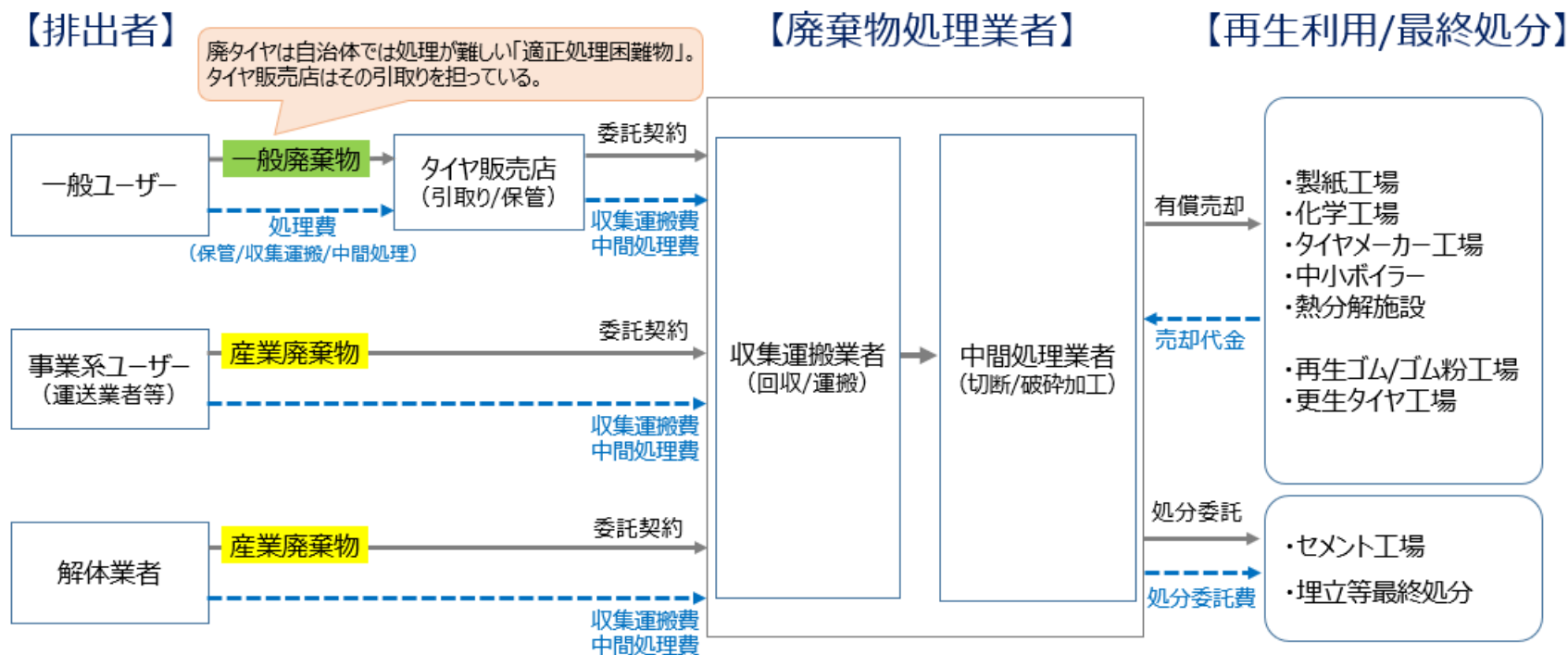
一般社団法人日本自動車タイヤ協会は業界活動の一環として、廃タイヤの適正処理及びリサイクルの推進に取り組んでいる。



廃タイヤリサイクルに関する主な活動内容： ①廃タイヤ適正処理の推進(リサイクル研修会の実施)
②廃タイヤ処理状況の確認(有効利用状況の調査、不法投棄状況の調査)
③不法投棄タイヤの撤去推進(原状回復支援制度の運用)

①廃タイヤ適正処理の推進

廃タイヤの回収処理基本ルート



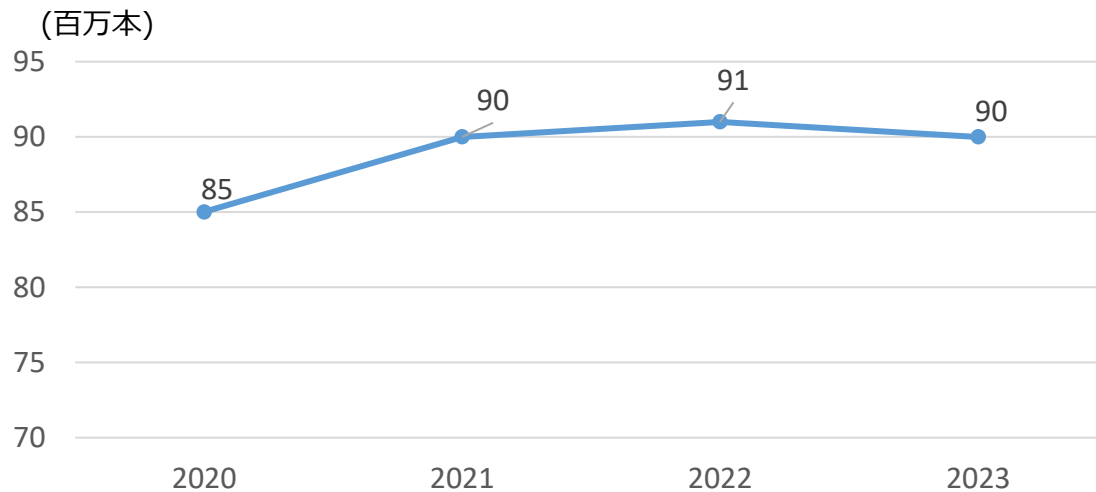
廃タイヤの適正処理について、主にタイヤ販売店向けに研修会を行っている。

②廃タイヤ処理状況の確認(有効利用状況の調査、不法投棄状況の調査)

有効利用率算定方法

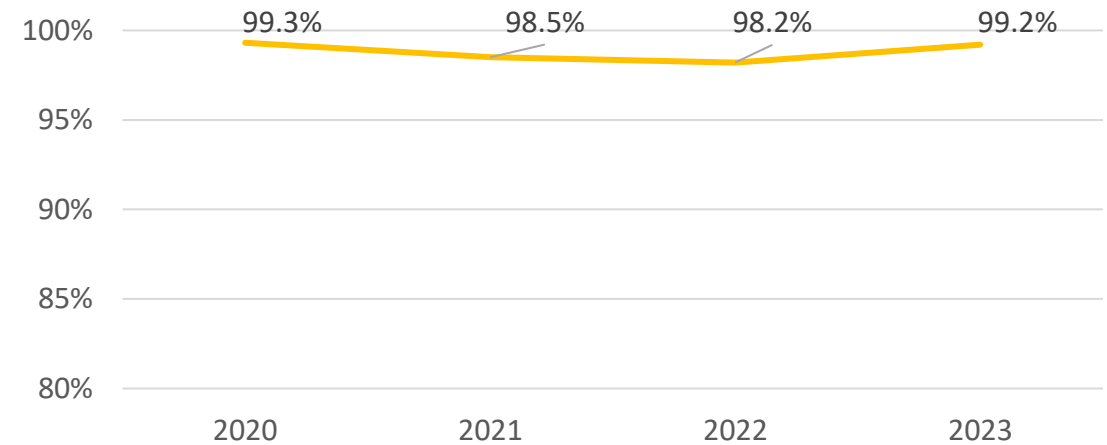
$$\text{有効利用率} = \frac{\text{有効利用量}}{\text{有効利用量} + \text{非有効利用最終処分量}} (\times 100)$$

廃タイヤの発生本数



廃タイヤは毎年9,000万本前後発生している。

廃タイヤの有効利用率



有効利用率は高い水準を維持している。

③不法投棄タイヤの撤去推進(原状回復支援制度の運用)

JATMA原状回復支援制度

原状回復支援制度は、不法投棄された廃タイヤの、自治体による撤去事業を支援・促進することを目的として、2005年に設置

- ✓ 支援対象者
生活環境保全上の支障の除去を目的として、不法投棄された廃タイヤの撤去事業（行政代執行による撤去を含む）を行う自治体
- ✓ 支援金額
撤去費用の2/3又は3,000万円のいずれか低い額

実績（2005年～2023年）

案件数	23件
撤去総量	廃タイヤ：約30,117トン（約299万本）
支援総額	約3億7,926万円

直近の事例（2022年、福岡県嘉麻市）

Before



After

